

けんひろインターンシップのこれから

これからも、広島県の地方創生をリードするための産学連携による人材育成を目指し、学生の実践的な経験学習を促します。県立広島大学の学部コースの学びを活かしたインターンシップを地元企業・病院・施設の皆様と協力してプランニングし、各方面で貢献・活躍できる人材の輩出へとつなげていきます。

けんひろインターンシップのプログラムイメージ（例）

製造業

- 地域の特産物を使用した新商品を開発したい（食品）
- 新商品のプロモーションを企画したい（食品）
- 工場周辺の環境について調査したい（自動車）

卸売・小売業

- 大学生の嗜好や流行を取り入れたイベントをしたい（小売）
- 顧客とのコミュニケーションを円滑にするアプリを開発したい（小売）
- 海外向けの商品説明書を作成したい（卸売）

医療・福祉業

- 病院食のメニュー改善を行いたい（病院）
- 通院患者様の予約システムアプリを作成したい（病院）
- 実習ではできない先輩職員とのワークショップを行いたい（福祉施設）
- 入院患者様、利用者様とのレクリエーションを考えたい（病院・福祉施設）



けんひろインターンシップのプログラムでは、事業所（企業・病院・施設）様の課題を組み合わせ、より実践的な調査、研究、ワークショップなどを行うことができます。参加学生は、学部・学科、コースでの「学び」を活かし、積極的に取り組みます。

— 県立広島大学 各学部・学科の 学びのキーワード —

地域創生学部

地域創生学科 地域文化コース
多文化理解 外国語 地域文化 など

地域創生学科 健康科学コース
健康科学 食 食品衛生 栄養士 など

生物資源科学部

地域資源開発学科
農業 食品 食品分析開発 など

生命環境学科 生命科学コース
生命科学 バイオテクノロジー 食品 医薬品 など

生命環境学科 環境科学コース
環境科 環境課題 遺伝子 など

保健福祉学部 保健福祉学科

チーム医療 地域包括ケア 全人的ケア リハビリテーション など

看護学コース
理学療法学科コース
作業療法学科コース
コミュニケーション障害学コース
人間福祉学コース



2022 けんひろインターンシップ REPORT

「大学の学び」を活かす産学学習プラットフォーム

『けんひろインターンシップ』



けんひろインターンシップは、

「働く」を知ること、「学び」が活性化される
産学連携の地域人材育成プログラムです。



けんひろインターンシップとは・・・

けんひろインターンシップは、「働く」を知ること、「学び」が活性化される産学連携の地域人材育成プログラムです。



事業所 (企業・病院・施設等)

- 目的** 学生と直接接することで、学生の動向や採用イメージを具体的に描くことができる。
- 効果** インターンシップの受入を通じて、将来地域で育み活かす即戦力採用の実現計画を構築できる。

県立広島大学

- 目的** 学部学科・コースでの専門的な学びが社会でどのように役立つのかを知る。
- 効果** インターンシップでの経験が職業選択に良い刺激と影響を与え、以降の学習及び研究活動を促進するきっかけづくりとなる。

けんひろインターンシップ

- 積極的な応用経験の場の提供
- 人事採用グループ・受入部署
 - プログラムの設計
 - 採用イメージの共有

- 低学年次からのインターンシップ参加
- 事前学習(業界・企業研究、ビジネスマナー等)
- キャリアセンター・教員
 - 学びを活かす科目との関連性
 - 参加学生のフォロー

STEP 1

県立広島大学

事前学習の実施
自己分析・企業研究⇒目標設定



STEP 2

受入事業所

インターンシップの実施
(企業内での就業、課題提示、成果発表等)



STEP 3

県立広島大学

事後学習
振り返り、学生生活の目標設定



けんひろインターンシップREPORT Vol.1

受入企業 **株式会社広島銀行**
 受入部署 ひろぎんホールディングスデジタル戦略グループ
 参加学生 経営情報学部 経営情報学科 13人
 実施期間 令和3年8月中旬～9月中旬 7日間

VOICE / [企業担当者様]



株式会社広島銀行 人事総務部
花村 茜様

既存のデジタル化に加え、ITを活用した新たなビジネスを創出する「DX」の強化に向けて、IT領域で力を発揮する人材のニーズが組織内で高まり、近年、広島銀行では従来の銀行業務の枠組みを超えた取り組みを進めています。地域でITを学ぶ学生に「学び」「働く」につなげる環境が当行にもあることをもっと知っていただきたいと感じていたタイミングで、情報系の学科のある県立広島大学が学生の実践力育成を目的とした長期インターンシップを検討していると知り、連携しました。参加した学生の方から「銀行のイメージや仕事について理解や関心が深まり、IT部門の雰囲気を肌で感じた」と伺い、充実したインターンシップの実現ができたと感じています。

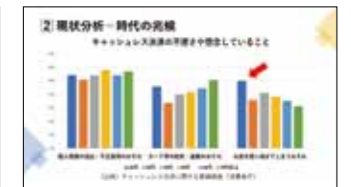
VOICE / [大学]

県立広島大学 地域創生学部 地域産業コース長 富田 哲治 教授

経営情報学科(地域産業コース情報分野)の卒業生の活躍は、在学中に習得した情報技術を活かした情報通信業が中心でしたが、近年、公務や金融・保険・証券業などの分野へも広がりがつづいています。これは、AIやデータサイエンスなどの情報技術が、様々なビジネス領域での活用が求められているからです。在学中にそういった実社会でのニーズを学外の現場で体験することは、学びのモチベーション向上のみならず、自身のキャリアビジョンの視野を広げる絶好の機会になります。今後も本プログラムに多くの学生が参加することを期待しています。

県立広島大学 地域創生学部 地域産業コース 折本 寿子 准教授

学生が興味のある情報システムに対して、チームで企画提案書を作成し発表する授業を大学2年生に行っています。その際に、けんひろインターンシップに参加した学生は、「課題の根拠をデータ分析し明確にする」、「競合を同業種に絞らず様々な業種もリサーチする」、「費用対効果を考慮して提案する」といった、大学の学びだけでは気づきにくいであろう内容を自然と考慮し企画提案書を作成していました。学びを経験し、知識に変える体験をしたことで、問題意識を持ち合わせた学びの姿勢に変化したと感じました。



VOICE / [参加学生]



経営情報学科 3年
清板 舞衣奈

私はけんひろインターンシップで初めて長期間型インターンシップに参加しました。長期間型インターンシップのため、チームで課題に対して話し合う時間をしっかり取る事ができました。また、中間フィードバックをいただいたことにより、さらに内容に納得感が得られ、チームとして満足度のいく提案を行うことが出来たと感じています。今、金融×ITのように様々な業界でITへの取り組みが進んでいます。私は今回の経験から、就職の幅は広いと感じました。ぜひ、下級生の方にもけんひろインターンシップに参加することをおすすめしたいです。



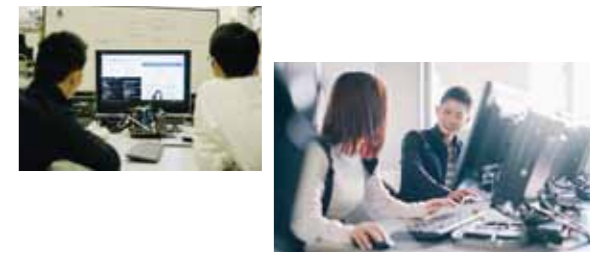
経営情報学科 3年
信重 咲歩

私はIT業界に興味を持っていたので、IT関連のお仕事について少しでも知ることができたらと思い、けんひろインターンシップに参加しました。実際の業務に似た内容で何日間もあったので、大変なこともやりがいも感じられ、働いた時のイメージが湧き、とても参考になりました。最後にフィードバックもいただけるため、自分の持ち味を再確認できる上、新しい一面も知ることができました。今後の就職活動に絶対役立つので、迷っている方はぜひ参加してほしいと思います。



経営情報学科 3年
内田 翔一郎

私は金融業界に情報がどのように関わっているかについて元々興味があり、また、広島銀行さんをよく利用していたこともあって、今回応募させていただきました。今回のインターンシップは、授業ではなかなか体験できないような経験であり、課題をこなす中で自分のこれまでの経験や知識を多く用いたことから人間力の育成につながるとても良いものだったと思います。インターンシップで重要となるのは質問力だと思うので、これからインターンシップを受ける人はそこを大事にするとの経験やより良いものにできると思います。



※イメージ写真(インターンシップの様子ではありません)

※イメージ写真